

# 中病だより

島根県立中央病院  
平成30年5月第32号

特集 平成30年度 新年度特別号

島根県立中央病院から皆さまへ  
新年度のごあいさつ

地域連携だより 第18号  
退院前後訪問指導をスタートしました

## 表紙写真

4月の新入職員オリエンテーションでは、チーム医療ははじめの一歩として「新入職員交流会」を実施しています。職種も年齢も異なる新入職員、転入職員全員を対象としたチームワーク演習で、平成26年度から行っています。医療の質・患者安全のためのチームワークシステム「チームSTEPS」を研修に採り入れ、簡単なゲームを通してチーム医療に必要な「コミュニケーション」「リーダーシップ」「状況モニター」「相互支援」の4つのスキルを体験しています。写真は、交流会終了後に、ゲームの製作物（紙の鎖）を手に記念撮影したものです。

ご自由に  
お取りください

無料



## 病院長からのごあいさつ 島根県立中央病院 病院長 小阪 真二

病院長2年目となりました。1年目の昨年度は慣れない職務に翻弄され、あっという間に1年が過ぎたように思われます。

昨年度は地域医療の確保、患者中心の医療、総合力をもった医療職の育成という目標をかかげて努力をしてきましたが、これらの命題は決して単年度で達成できるようなものではありません。今後も継続的な努力が必要だと感じています。

一昨年度後半から減少していた入院患者さんも昨年度後半には少し増加し、地域に根ざした医療という意味では成果が出始めているのかもしれませんが、現在の医療情勢に合わせたより一層の努力が必要でしょう。それを踏まえ、昨年度は地域医療支援プロジェクトを立ち上げ、急性期病院から地域への橋渡しとして、当院の専門性をもった医療者を訪問させ、地域の訪問診療、訪問看護、介護等につなげる退院前後訪問指導を開始しました。

退院前から退院先の状況を確認し、その状況に即した退院支援をすること、退院後も入院中に受けていたケアが継続できるように病棟看護師、認定看護師などが専門性を地域のケアに引き継ぎ、活かしていくことで、急性期病院から在宅へのシームレスな連携が生まれると信じています。

本年4月の診療報酬改定でも地域連携部分に多くの項目が追加されました。医療介護一体改革の流れに沿った地域医療の試みが必要と考えています。高齢化が進み、慢性疾患の患者さんが多くなった現在、病院だけでは患者さんを治療できず、地域と一体となって医療体制を構築していく必要があります。地域から要請があれば、可能な限り支援できるように努力したいと思っています。

病院完結型医療から地域完結型医療への転換において、情報連携は非常に重要なことです。しかし、よくいわれること

ですが、連携を成功させるのは、決してIT技術ではなく、医療者同士の顔の見える連携なのだと思います。

患者中心の医療では、それぞれの医療者が常に患者さんのことを考え、それぞれの特性を活かしたケアを自律的に行えるようにと思っていますが、まだ指示待ちになっている部分もあり、医師の働き方改革の議論でいわれているような他職種へのワークシフトを含めて、医師のみではなく多職種が患者さんのことを第一に考えた働きかけをこれから増やしていく必要があると思います。

総合力を持った医療者の育成に関しては、発足3年目の臨床教育・研修支援センターの組織体制を充実させ、院内すべての医療職の研修を一元的に把握し、随時支援できるような体制を目指します。それぞれの医療職が患者さんに向かい合って自律的に働きかけをしようとする、やはり自分の専門だけでなく、幅広い視野を持ち、他職種の業務を理解することが必要です。当院は高度急性期、急性期医療を担う医療機関ですので、当然専門性は大事ですが、これからの高齢化社会では、専門分野だけでなく患者さんを全人的にケアするための総合力を高めることが必要になると考えています。

医療の技術は日進月歩であり、医療を取り巻く環境も変わってきており、県立中央病院も時代の流れに従って変化していかなければなりません。地域に必要な医療を公平・公正に提供するという使命、患者さんの役に立ちたいという思いは決して変わらないものだと思います。使命・患者さんへの思いをしっかり中心に据えて、地域に必要とされる病院であり続けることを目指していきます。

## 副院長からのごあいさつ



副院長  
齋 鹿 稔

超高齢化社会を迎えつつある現在、国民皆保険の維持と安定した医療提供体制の維持のために、国は住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。島根県立中央病院はこれまで全県を対象とする高次医療機能を担ってきましたが、全県下の医療機関と連携を更に深め、不足する高度・専門的な医療の提供を行ってまいります。更に、地域医療構想を踏まえた今後の医療提供体制の変革に際しては、医療従事者の地域偏在や診療科偏在により、医療圏域によっては必要な機能の拡充や転換が思うように進まない場合も想定されます。そこで、本来あるべき姿に移行するまでの間の補完的役割も担いながら、「地域包括ケアシステム」の構築に寄与してまいります。



副院長  
山 森 祐 治

平成30年4月1日付で副院長を拝命いたしました。当院に赴任してから15年間、これまで主に救命救急医として救命救急センターの運営や島根県ドクターヘリの導入に携わって参りました。これからはこれまでの任務に加えて副院長として病院長を支えながら、地域医療に貢献していく所存です。自治体病院としての使命は「地域に必要な良質の医療を公平・公正に提供すること」であり、その中でも特に当院が目指している病院完結型から地域完結型医療への転換を推進するための取組を支えていきます。このような医療を展開していくにはやはり人材確保が重要ですが、自分に与えられた任務の一つに医師確保があります。慢性的な医師不足の島根県では困難な任務であると認識していますが、島根大学医学部をはじめとする他大学医学部との連携強化、当院での総合的な能力を備えた医師の育成、さらには働き方改革などにより医師の確保に取り組んでいきたいと考えています。



副院長（内分沁代謝科部長）  
伊 東 康 男

副院長に就任して3年が経過しました。副院長の仕事としては、引き続き医療安全を担当しています。医療の現場では、常に有害事象が発生する危険性をはらんでいます。人は誰でも間違えます。個人の力には限界があります。そのため医療事故防止には、チームや組織全体のあり方を改善していかなければなりません。中央病院では、医療安全推進室を中心に、各部署にリスクマネージャーを配置し、医療事故の未然防止、再発防止に向け様々な取組を行っています。医療安全の確保にこれで完璧はありませんが、今後も県民の皆様が安心して医療を受けられる病院、職員が安心して働ける病院をめざして取り組んでいきます。また内分泌代謝科医師として、糖尿病診療を中心に頑張っています。糖尿病の患者さんはあいかかわらず多いですが、これからは合併症の発症予防・進展阻止をめざして、今まで以上に頑張っていきたいと思っています。今後ともよろしく願い申し上げます。



副院長  
木 村 清 志

皆さん、こんにちは。地域医療担当副院長の木村です。中央病院では総合診療科で外来診療を行っています。さて、中央病院の重要な役割の一つに地域医療支援があり、その中に代診業務があります。過疎地域の医師不在を補うために島根県が実施している代診医派遣制度により、県立病院の医師が公立診療所等で休暇等の医師に代わって診療します。この代診を私も他の先生方とともにしています。昨年度は、常勤医師が不在となった診療所で定期的な診療もしましたので、私の代診日数は例年よりかなり多い85日でした。また、中央病院は医師の教育・研修のための病院でもあります。診療に従事しようとする医師は2年間の臨床研修(初期研修)を受け、その後それぞれが希望する診療科で専門医を目指して研鑽します。中央病院には今年度、30数名の初期研修医と20数名の専門医を目指す医師がおります。皆様方には、このような若手医師の成長を温かい目で見てくださいようお願いいたします。



## 各局長からのごあいさつ



### 看護局長 池田 康枝



皆さん、こんにちは。診療報酬と介護報酬、障害福祉サービス等報酬のトリプル改定の年が幕開けとなり、地域包括ケアシステムの構築・推進がますます加速すると思われまます。超高齢化社会の島根県では、高齢者や要介護者だけでなく、子育て世帯や障害者の方など、だれもが住み慣れた土地で安心して暮らし続けられる仕組みづくりが始まっています。看護局では、退院前後訪問指導の実施や助産師出向事業への参加など入院中はもちろん入院前から在宅までを積極的に支える活動を開始しています。地域の中で「今、求められる看護のチカラ」をタイムリーに発揮できるように頑張ります。

### 医療技術局長 角森 正信



医療技術局は6科2スタッフからなる組織で、診療放射線技師、臨床検査技師、視能訓練士、管理栄養士、調理師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、診療情報管理士、歯科衛生士、臨床心理士の12の専門職種と医療アシスタント合わせて141名が所属する多職種多能集団です。我々の仕事は患者さんと接して行う業務もありますが、患者さんからは直接見えないところで行っている仕事も多くあります。病院のいろいろな場所でそれぞれの専門性を活かし、患者さんにより良い医療が提供できるよう、互いに連携・協力しながら、知識と技術で医療を支えています。



### 医療局長 (医療安全推進室長/ 眼科部長 事務取扱) 徳家 敦夫

医療局長を拝命し2年目になります。昨年就任された小阪病院長のもと、現在様々な取り組みを行っています。各診療科の医師たちも日々研鑽を重ね、その成果は日常の診療に生かされています。また今年度から新しい専門医制度がスタートし、地域で活躍する医師の育成に努めてまいります。医療局は今年度も各診療科に新しいスタッフを迎え入れ、ハードとソフトの両面を充実させ、さらに良質な医療を県民の皆様に提供できるよう引き続き努力してまいります。今後も当院の得意とする医療情報ネットワーク「まめネット」をさらに活用し、地域完結型医療への移行を確実に進めてまいります。



### 薬剤局長 (腎臓科部長) 金 聲根

適切な医療を等しく住民に提供することを目的の地域包括ケアの中で、県立病院で急性期病院である当院の薬剤局の役割は重要です。患者さん本位の薬物療法に資する院内薬剤業務はもちろんICT、NST、緩和・褥瘡・認知症ケアなどのチーム医療に協働していくことも求められています。重複投薬、残薬や不要薬防止などのポリファーマシー対策、重篤な副作用の未然防止などにおいて地域の保険薬局との連携を密にすることや後発品の推進など病院経営に貢献することも重要な役割です。島根県立病院薬剤局として地域医療において県民の皆さんに貢献できればと思っております。



### 事務局長 竹内 俊勝

この度4月1日付けで事務局長を拝命しました竹内俊勝です。これまで33年勤務してきましたが、医療行政・病院勤務とも経験したことがなく、職責の重さを実感しております。中央病院は、県の基幹病院として島根県全域を視野に入れた高度な救急医療や周産期医療などの政策医療を担っています。その点からは県民に対する医療提供の最後の砦として島根県全体の医療を支える使命を負った病院です。中央病院が県民の皆さんに信頼される病院として、円滑な病院運営が継続されるよう、事務局職員が一丸となって取り組んでいくため、私自身努力していきますのでよろしくお願いいたします。

## 医療局次長・診療部長からのごあいさつ



### 医療局次長 松原 康博

専門科は救命救急科です。ドクターヘリやドクターカー同乗による病院前救急診療や院内救命救急医療のほか、医の倫理委員会、保険医療適正運用WG、防火・防災委員会を担当しています。



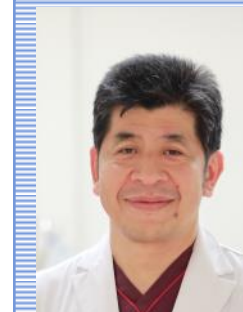
### 医療局次長 森山 政司

医療局次長の森山です。専門は産婦人科で、分娩・帝王切開・婦人科手術などに携わっています。さらに、がん診療関係についての院内での協議、病院・診療所との連携、がん患者さんへの医療支援などのまとめ役を行っています。



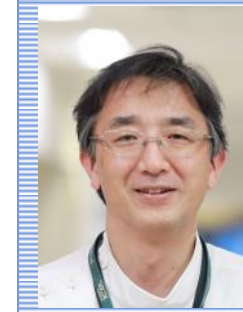
### 医療局次長 磯和 理貴

縁あって、平成30年4月より当院に採用されました。専門は呼吸器外科ですが、当院ではおもに病院の中の横の糸、なかでも医療安全と教育に携わっていきたく考えています。どうかご指導を宜しくお願ひします。



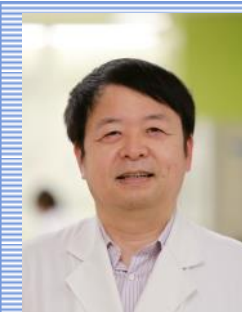
### 医療局次長 (循環器科部長) 小田 強

循環器科の診療として、県民の皆様に、カテーテル治療を中心とした、体に負担が少なく高度な医療技術の提供を行っていくとともに、医療局次長として、病院全体の円滑な運営にも貢献できるよう日々精進して参ります。



### 中央診療部長 勝部 浩介

整形外科として、骨折などの外傷、腰痛や膝痛などの慢性疾患、運動器感染症など、運動器疾患の幅広い対応を心がけています。特に、増加する高齢者の健康寿命を延ばすことが地域医療にとっても重要と考えて診療しています。



### 内科診療部長 高下 成明

県民の皆様が、島根県立中央病院に受診して、本当に良かったと笑顔で帰宅されるように、全力で頑張ります。内科診療部門で問題点があれば、気軽に申し出て下さい。最高の内科診療を提供することを県民の皆様にご約束いたします。



### 外科診療部長 (心臓血管外科部長) 山内 正信

狭心症・心筋梗塞、心臓弁膜症、大動脈瘤、末梢動脈疾患、下肢静脈瘤などの手術を行っています。手術に関して、分からないことや、不安なことがあれば、いつでもご相談下さい。



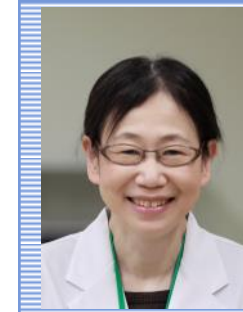
### 皮膚感覚器診療部長 (歯科口腔外科部長) 尾原 清司

皮膚感覚器診療部は形成外科・皮膚科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科口腔外科と隣接領域の5科から成り立ち、繊細な診療の多いことが特徴でしょう。各科内での研鑽と良好な相互協力関係で、高度で安心・安全な医療を目指しています。



### 救命救急診療部長 (麻酔科部長) 越崎 雅行

ドクターヘリや多数の救急車を受け入れる中で、本年度も、救命救急部門を通じて地域の医療の一翼を担いたいと思います。



### 母性小児診療部長 (産婦人科部長) 栗岡 裕子

当院は総合周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、生殖医療専門認定施設としての役割を果たしています。主治医・担当医制ですが、担当医以外の医師も緊急対応できるよう毎朝カンファレンスをし、治療方針を共有しています。



新・診療科部長からのごあいさつ



整形外科部長  
飛田 正敏

4月に拝命致しました。当科は近隣の病院と比べて骨折の患者さんの比率が圧倒的に多いです。病気と異なり骨折は予期せぬ入院で、急な出来事に患者さんご家族の皆さまも不安になられることと思います。骨折があるから必ず手術をするわけではありません。例えば、大腿骨頸部骨折では骨折したままでも強い痛みを伴うことなく座ることは可能です。受傷前の活動性を元に今後の生活目標をどのように定めるのか、患者さん・ご家族と相談しながら個別に治療方針を決めております。スタッフ一同、これからも患者さんに寄り添う医療を続けていきたいと存じます。宜しくお願い致します。



脳神経外科部長  
井川 房夫

島根県立中央病院は島根県の中核病院、最後の砦としてどんな患者さんにも対応できるように、脳神経外科でも準備ができております。平成30年4月より、広島大学脳神経外科准教授であった井川が2年半ぶりに復帰してまいりました。まだまだ、島根県の皆様への貢献が足りず、感謝の気持ちを忘れずに、患者さん第一で治療に当たります。ご連絡いただければ、どんなことでもすぐに相談に乗らせていただきます。



泌尿器科部長  
吉野 千城

本年度より泌尿器科部長を拝命しました。地域の皆様に育てて頂いた泌尿器科をさらに発展させるべく努力してまいりる所存です。当科では、一般成人泌尿器科診療をさせて頂いています。手術では、これまで上腹部(腎、副腎など)を中心に行われてきた腹腔鏡手術を3年前の着任時より当院でも開始し、60例を超える手術を実施しました。10年以上で培った300例以上の泌尿器腹腔鏡手術の経験を活かし、安全かつ低侵襲な手術を提供させて頂きたいと考えています。手術に限らず、最適な医療を実践できるようスタッフ一同努めてまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



検査診断科部長  
若山 聡雄

輸血、検査室の責任医師として検査技師と連携し、安心・安全な医療を提供できるよう努めます。



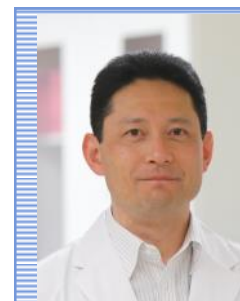
病理組織診断科部長  
大沼 秀行

癌などの最終判定を行う大きな責任を担っており、これからも診断精度の向上に努めて参ります。



臨床腫瘍科部長  
川上 耕史

安全な抗がん薬治療を支えるとともに、がん治療の様々な場面の患者さんへの支援を行います。



肝臓内科部長  
三宅 達也

各科と連携し、肝疾患患者さん個々に最適の医療を提供するよう心がけながら診療しています。



総合診療科部長  
今田 敏宏

高齢化時代に対応した総合診療並びに総合医の育成、地域包括ケアの構築に貢献できるよう頑張ります



精神神経科部長  
狭間 玄以

思春期から老年期まで幅広く患者さんが来院されます。標準的な治療を行えるよう努力しています。



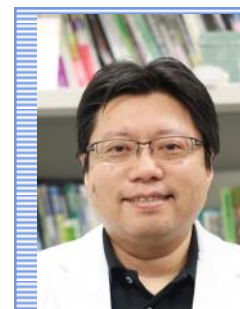
神経内科部長  
青山 淳夫

神経内科は脳血管障害から神経難病まで診療しています。皆様のお役に立つよう頑張ります。



呼吸器科部長  
久良木 隆繁

呼吸器分野の世界標準医療を提供いたします。



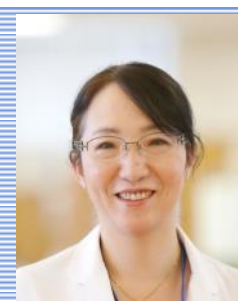
消化器科部長  
藤代 浩史

内視鏡科、肝臓内科と一体となり消化器疾患の検査、治療を幅広く担当しています。



リウマチ科部長  
永村 徳浩

当科は関節リウマチ、膠原病、自己炎症症候群、好酸球増多症など臓器に特定されない診療を行っています。



リハビリ科部長  
永田 智子

スタッフと一丸となり急性期病院にふさわしい安全で効果的なリハビリテーションを提供します。



放射線科部長  
兎玉 光史

CT、MRI、PET-CT等での診断と、血管造影診断・治療を担当する診療科です。



放射線治療科部長  
黒田 覚

医師2名で放射線治療を担当しています。患者さんに親身な診療を心がけています。



内視鏡科部長  
宮岡 洋一

消化器内視鏡に関する検査、治療についてはご遠慮なくお尋ね下さい。しっかりと対応いたします！



血液腫瘍科部長  
吾郷 浩厚

最新の治療を取り入れた専門性の高い診療ときめ細やかなサポートを提供できるよう努めます。



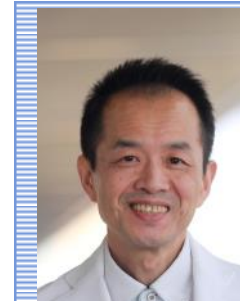
感染症科部長  
中村 嗣

感染にかかわる予防や治療に関する事などの様々な相談を、多くの部署と協力して活動しています。



外科部長  
金澤 旭宣

腹腔鏡手術等の患者にやさしい最新外科治療と高いレベルでの集学的治療を県民の皆様に。



乳腺科部長  
橋本 幸直

フレッシュな女性医師も加わり、皆様のお役にたてるよう乳腺科スタッフ一同頑張っています。



呼吸器外科部長  
阪本 仁

安全第一。根治性、体に優しい手術を追求します。他科・地域連携を積極的に行い万全を期します。

診療科部長からの  
ごあいさつ





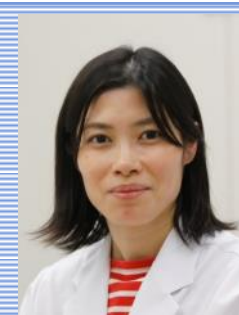
形成外科部長  
岡本 仁

都会の専門科、専門施設と同じレベルの医療を提供できるように日々努力しています



皮膚科部長  
辻野 佳雄

丁寧な説明と納得の治療を目指し、気軽に相談してもらえる環境作りに努めています。



眼科（医長）  
蝶野 郁世

昨年は白内障手術を中止し、ご迷惑をおかけしております。今年度中に再開したいと考えています。



耳鼻咽喉科部長  
木村 光宏

内視鏡治療を活用し、痛み・苦痛の少ない医療を目指し努力しております。



救命救急科部長  
新納 教男

高度救命救急センター外来は救急科専門医が常駐しています。24時間365日いつでも救急医が対応します。



神経内科  
田原 奈生

島根県の医療に精一杯貢献致します。よろしくお願ひします。



神経内科  
岩佐 憲一

患者様が気軽に悩みを相談できるような診療を目指します。よろしくお願ひいたします。



消化器科  
片岡 祐俊

4月より赴任いたしました片岡です。消化器科後期研修医として頑張ります。よろしくお願ひします。



循環器科  
石口 博智

山口県から参りました。循環器診療(特に不整脈)を行っております。宜しくお願ひ致します。



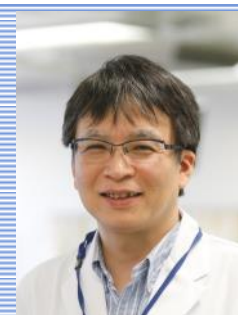
外科  
嶋田 徳光

4月より外科に赴任しました。地域の方々に信頼され、お役にたてるよう頑張ります。



手術科部長  
小笹 浩

様々なスタッフと協力して患者さんに安全・安心な手術麻酔を行なうよう努めて参ります。



集中治療科部長  
北野 忠志

最善の治療が行えるよう各診療科の医師と協力し、チーム医療の中心として頑張ります。



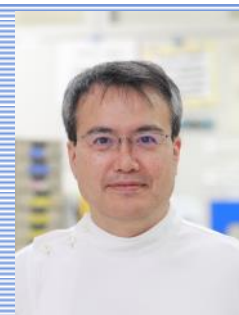
小児科部長  
成相 昭吉

お子さんの診療の際には『適切なより良い情報』をお伝えし、不安の軽減に努めます。



新生児科部長  
加藤 文英

小さく生まれた赤ちゃんが元気に成長できるように、日々診療しております。



地域医療科部長  
増野 純二

中央病院は地域医療支援として県内の離島・中山間地等の地域医療機関へ医師を派遣しております。



外科  
服部 晋明

親切、丁寧に日々の診療を頑張っていこうと思います、よろしくお願ひします。



外科  
福本 実希子

外科医として皆さんに信頼される医師を目指して精一杯頑張りますのでよろしくお願ひ致します！



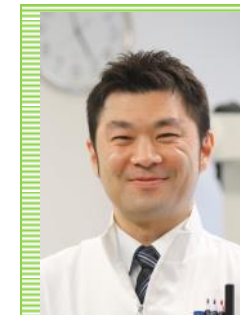
整形外科  
松崎 雅彦

卒後26年目の新人です。安全で質の高い整形外科、脊椎外科診療が提供できるよう頑張ります。



整形外科  
板脇 一樹

初期研修でお世話になった病院に帰って来ました。恩返しできるように頑張ります！



脳神経外科  
吉山 道貴

山陰地域の皆様により良い医療を提供できるように、全力で頑張ってお参ります。

新任医師からの  
ごあいさつ



放射線科  
河原 愛子

画像診断や画像を用いた治療で地域の皆様に貢献できればと思います。宜しくお願い致します。



内視鏡科  
田中 雅樹

消化管癌に対する内視鏡治療を専門としています。地域の皆様に貢献できるよう精進します。



総合診療科  
板持 卓弥

気持ちよく受診して頂けるよう、丁寧な診療を心がけます。何でもご相談下さい。



神経内科  
高吉 宏幸

島根大学より赴任しました。地域の方々の力になれるように頑張ります。



心血管外科  
金築 一摩

本年4月より赴任致しました。地域の皆様のニーズにお応え出来るよう精進致します。



泌尿器科  
永見 太一

7年ぶりに大学病院から戻ってきました。皆様の声を基により良い泌尿器科診療ができるように精進します。



形成外科  
井上 真一

5年ぶりに島根県立中央病院に復帰しました。宜しくお願いします。



歯科口腔外科  
齋藤 光寿

去年は研修医でしたので今年で2年目です。精一杯努力して参りますのでよろしくお願ひします。



麻酔科  
石倉 聡

やさしく安全な麻酔に努めたいと思います。よろしくお願ひします。

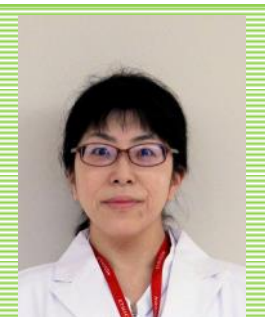




平成30年2月入職

産婦人科  
岡田 裕枝

島根県の産科、婦人科医療に貢献できるよう精進したいと思います。よろしくお祈りします。



産婦人科  
江川 恵子

2月より勤務させていただいております。今後ともよろしくお祈り致します。



平成30年3月入職

新生児科  
伊藤 智子

ちいさな赤ちゃんとご家族のために力を尽くし、新生児医療の担い手を育ててまいります。



## 平成30年度 新入初期臨床研修医のご紹介



新しく医師となった初期臨床研修医17名、2年目から当院で研修を受ける初期臨床研修医3名が入職しました。よろしくお祈りいたします。

写真並び順

佐藤 美愛	西堂 愛	佐伯 祐子	瀬島 千晴	市富 優希	岡 優里	浅野 成美	大谷 真紀	梶谷 茉衣	田邊 淳也	邊田 健一	上田 真大	小林 尚平	奥 真一朗	川上 晃樹	谷口 尚平	銅山 達哉	金築 駿吾	小野 康博	佐々木 陽平
-------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

写真外

# 地域連携だより

第78号

## 退院前後訪問指導をスタートしました

入退院支援・地域医療連携センター 地域医療連携・医療福祉相談スタッフ 看護師長 岩佐 佳栄

当院では、地域医療への支援を強化するための取り組みの一つとして、昨年度から地域包括ケア支援機能プロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトでは、当院の職員が患者さんのご自宅を訪問する「退院前後訪問指導」の始動に向けて協議を重ね体制を整備してきました。院内スタッフへの研修会やマニュアルの作成、訪問専用車を準備し、今年度4月からは本格始動いたしました。

「退院前後訪問指導」とは、医師の指示のもと、患者さんの退院前・退院後に病棟の看護師や認定看護師、退院調整看護師や社会福祉士等の医療従事者が、患者さんのご自宅を訪問し、退院後の療養環境を確認しながらご相談に応じたり医療処置などの指導をします。訪問をする際には、患者さんを担当されているケアマネジャーや訪問看護ステーションの看護師、福祉用具店の方など、地域の支援者の方々と一緒に自宅訪問することも多くあります。退院後の療養の場となるご自宅に、病院と在宅の支援者が一つのチームとなって訪問することで、在宅療養に向けての環境調整や療養方法をより具体的に考えたり、療養環境に合

わせた指導を行うことで、患者さんやご家族の安心にもつながっています。入退院支援・地域医療連携センターでは、「患者さんの思いに寄り添った、生活を途切れさせない療養生活の支援」をビジョンに掲げ、地域の皆様に少しでも貢献したいと考えています。病気やけがを抱えたり、要介護状態となっても住み慣れたご自宅で暮らしたいという患者さんの願いを叶え、患者さんやご家族の方が安心して在宅療養へ移行できるよう、今後も病院と地域とが一体となってサポートしていきます。



地域医療連携・医療福祉相談スタッフ

5月・6月 地域医療従事者対象 研修会等のお知らせ				
日時	内容	講師	場所	申込み
5月31日(木) 18:30~20:00	しまね医療情報ネットワークシステムの活用	島根県医療政策課地域医療支援第一グループリーダー 今岡 久 NPO法人しまね医療情報ネットワーク協会事業推進主任 中尾 吉伸 島根県立中央病院入退院支援・地域医療連携センター看護師長 岩佐 佳栄	島根県立中央病院 2階大研修室	不要
6月14日(木) 18:30~20:00	急変時対応講習会 危険な状態の見極めとその伝え方	島根県立中央病院 医療局次長 松原 康博 救急看護認定看護師 浦部 涼子 集中ケア看護認定看護師 西尾 万紀	島根県立中央病院 研修棟3階 ミューラー室	要 当院ホームページをご確認ください
6月15日(金) 17:30~18:45	感染防止対策研修会 医療現場における手指衛生	順天堂大学大学院 医学研究科 感染制御科学 教授 堀 賢 先生	島根県立中央病院 2階大研修室	不要
6月16日(土) 13:00~17:00	栄養サポート研修会 栄養サポートに関する基礎知識の習得	島根県立中央病院 栄養サポートチーム	島根県立中央病院 3階会議室1	要 当院ホームページをご確認ください
6月28日(木) 18:30~20:00	臨床薬理病画像検討会(CPPC)	島根県立中央病院医師 他	島根県立中央病院 2階大研修室	不要

※詳細は当院ホームページをご確認ください。変更等あれば、ホームページでお知らせします。



# お知らせ

## 外来手術室ができました

これまで当院の手術室は3階に10室あり、入院して行う手術も日帰り手術も全てそこで行ってきました。現在、当院ではハイブリッド型手術室の整備を進めており、それに伴い3階の手術室は10室から9室に減る予定です。そのため4階に新しく“外来手術室”を3室設けました。外来手術室は、局所麻酔や伝達麻酔などによる日帰りで出来る手術を行うための手術室です。患者さんの更衣室と、手術後や外来で行う内視鏡、気管支鏡検査後の患者さんの経過観察室も4階に新設しました。5月14日より運用を開始致します。

手術室の様子



経過観察室の様子



患者さん更衣室



## 外来診療表 <一般・初診>

平成30年5月1日現在

診療科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
総合診療科	○		○		○		○		○	
精神神経科	○				○					
神経内科	○		○		○		○		○	
消化器科	○		○		○		○		○	
循環器科	○		○		○		○		○	
リウマチ・アレルギー科	○			○	○				○	
血液腫瘍科	○		○		○		○		○	
内分泌代謝科	○		○		○		○		○	
外科	○		○		○		○		○	
乳腺科	○		○		○					
整形外科	○		○		○		○		○	
脳神経外科	○		○		○		○		○	
呼吸器外科	○		○		○				○	
心臓血管外科	○				○				○	
泌尿器科	○		○				○		○	
小児外科		週不定								
腎臓科	○		○				○			
形成外科		○			○				○	
皮膚科	○		○		○		○		○	
眼科	○		○		○		○		○	
耳鼻咽喉科	○		○				○			
歯科口腔外科	○		○		○		○		○	
小児科	○		○		○		○		○	
産婦人科	○		○		○		○		○	